

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1 学校概要

学校名 岡山県岡山市立足守中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒701-1462
岡山県岡山市北区大井360番地

E-mail: ashimoric@city-okayama.ed.jp

Website: www.city-okayama.ed.jp/~ashimoric/

児童生徒数 男子 68名 女子 64名 合計 132名
児童・生徒の年齢 12歳 ～ 15歳

2 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

1 足守中学校地域学習（足守地区活性化プロジェクト）の概要

足守中学校区は、岡山市北西部の吉備高原の山並みに囲まれた農山村地域で、近年の高齢化、過疎化がこの地域においても深刻な問題となっている。農業以外の産業が少ないため、卒業後は地元を離れて進学・就職する生徒が多く、地域の担い手である若者が少ないのが現状である。一方で、学区には文化遺産も多く、古代中世期の遺産が発見され、江戸時代からある近水公園周辺には当時の町並みが保存されている。また、緒方洪庵のような歴史に名を刻む先人も多く輩出されている。蛍の生息地やメロンの産地としても知られ、自然環境豊かな土地である。学区の方々は地域に誇りを持ち、こうした文化や伝統、自然を大切に守り、継承していきたいという願いをもっているため、生徒たちは地域の宝であり、次の世代の担い手としての期待として大切に育てられている。こうした中で、地域の課題を自然・産業・歴史・文化にわけて、探究的な活動を通して見つけ出し、課題克服への方法を地域へ提言していくという取り組みが「足守中学校地域学習（足守地区活性化プロジェクト）」である。

2 主な取り組み

1 地域再発見学習（1年生 44名）

【主な流れ】

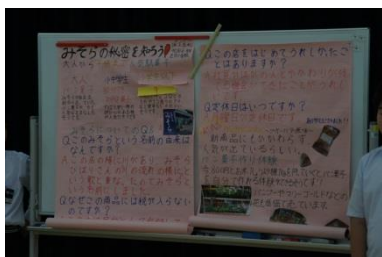
- 5月下旬 活動内容についてオリエンテーション、テーマ希望調査
活動グループづくり、活動計画書作成、訪問先へのアポどり
- 6月 3～5名のグループで現地（訪問先）に行つての取材活動



- 6月中旬 地域再発見学習発表会にむけて調査内容や、取材してきたことを画像を貼るなどして分かりやすくまとめた。



6月22日 地域再発見学習発表会（本校・交流ホール）学年での発表
教材提示装置を用いたり、クイズを行ったりするなどして、分かりやすく興味を引く発表を行った。



2 地域学習 （3年生 43名）

【主な流れ】

1学期：生徒個人の希望をとり、グループ分け

4～5名のグループ・10班にわかれて、テーマの設定、詳細な活動計画の立案

訪問取材・調査、資料収集と整理 試作品製作

ご協力先：岡山大学・岡山県立大学・岡山市役所・吉備津神社 など

調査と資料を整理し、発表準備

①具体的な提案のためのパンフレットや試作品を作成

②提言内容をまとめ、提言書の作成

③プレゼン用のパワーポイントの作成



9月8日 学年発表会（本校・交流ホール）

地域学習発表会の発表形式（舞台発表・展示発表）
を決める審査。今年度は、展示発表5班・舞台発表5班
に決定。



9月17日 地域学習発表会<文化祭内>（本校・体育館）



- ・地域学習発表会で地域の人たちを招いて、提言した。
- ・地域コーディネーター、公民館館長、町内会長などの有識者等からの質疑に応答し、その後、講評をいただいた。
- ・発表形式は、学年発表の際に決定した舞台発表と展示発表で行った。
- ・舞台発表は、パワーポイントを利用してプレゼンテーションを行い、展示発表では、グループごとにブースに分かれて、パネル展示やビデオなどの展示を行った。

【来賓の方】 各連合町内会長・地域コーディネーター・岡山大学
ESD協働推進室

など 20名程度

【使用した機材等】 パワーポイント・パソコン・プロジェクター
模造紙・DVD など



【代表的提言の紹介】

テーマ：広めよう！～足守の祭り～

足守の四季を感じてもらい、地域活性化・歴史文化の継承を目的に、テーマを設定した。活動内容としては、祭りの関係者にインタビューを行い、祭りについての理解を深めた。そして、宣伝に使ってもらえるようメロン祭り・ファンタジック福谷のポスター・うちわ・てぬぐいのデザインを考えた。グッズを祭りで実際に配っていただけないだろうか、という提言で締めくくった。

【その他の提言内容】

- 「定着させよう若者たち～地域のよさを生かす～」
- 「二宮鼓神社について知ってもらいたい」
- 「広めよう！～足守の祭り～」
- 「足守川の生態とスイゲンゼニタナゴ 復活大作戦」
- 「足守を広め隊～足守を広めよう、自分たちの手で～」
- 「広めよう栄西」
- 「足守のグルメ」
- 「福谷幼稚園を道の駅に！」
- 「災害時に私たちが高齢者にできることは」
- 「大井神社をたくさんの人々に知ってもらおう」

発表会后

振り返りと次年度への引継ぎ文書の作成
生活における実践

3 取組の成果

この活動は、地域における地域のための活動で、ともすると、地域の範囲だけで終わってしまいがちなものである。ほとんどの提言が発表会で終わってしまっていることが、毎年反省点でもある。しかしながら、今年度の成果として、生徒たちが地域外の方からご意見をいただいたり、地域の情報を外にむけて発信したりすることで視野を広げる体験ができたこと、地域の中の自分たちの存在意義について生徒一人一人が感じ取り、自分たちが地域社会の担い手であるという意識をもつことができたことなどがあげられる。

生徒が自分たちで動き、地域の方や地域外の方にまで協力をしていただきながら研究し、地域の方に提言をすることで、足守という地域に育った生徒たちならではの活動を行うことができた。

4. 今後の課題

地域について学び、提言を行うこの取組は生徒たちが地域の担い手であることを意識できる活動として定着し、内容や提言方法も年々工夫がこらされてきている。一方で、毎年同じような形式で、地域の問題を発見し、解決方法を地域に発信するという流れになっているため、地域の問題点を自分たちで見つけていく点において、新しい課題がなかなか出にくいようである。前年度の内容を引き継いでより良いものを提言し、つなげていくことも試みたい。

次年度、より充実したものにするためには、課題発見の段階で地域に問いかけてみるのも一つの方法ではないだろうか。

また、発表後、引き続き地域や市と連携を密にし、発表のみで終わらず探究的な学習活動にしていく方法や環境をととのえていくことも考える必要がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他